

<参考資料>

当社の海外事業  
～海外発電事業と海外コンサルティング事業～

1. 海外発電事業の現状

台湾・ベトナム・オーストラリア・アラブ首長国連邦・インドネシアの5カ国7プロジェクトへの投資に加え、世界有数の風力発電事業会社であるユーラスエナジーホールディングスへの出資を実施<sup>(注)</sup>。

これら海外での発電事業は概ね順調に推移しており、平成18年度の売上高は、約530億円程度（持分比率・推定）になる見込み。

(注) ミラント・フィリピンプロジェクトについては、権益取得完了に向け、現在交渉中。

<海外発電事業概要>

プロジェクト名	相手国	当社出資額*	出資比率	発電出力等	運転開始時期等
① 彰濱 ② 豊徳	台湾	約65億円	19.5%	①彰濱49万kW ②豊徳98万kW	2004年3月営業運転開始
台湾中部（彰濱）・南部（豊徳）にガスコンバインドサイクル発電所を建設し運営。					
③ フォー2・2	ベトナム	約19億円	15.6%	71.5万kW	2005年2月営業運転開始
ベトナム南部にガスコンバインドサイクル発電所を建設し運営。					
④ タロング・ノース	豪州	約65億円	35%	45万kW	2003年8月営業運転開始
オーストラリア・クィーンズランド州に石炭火力発電所を建設し運営。					
⑤ ロイ・ヤンA	豪州	約173億円	32.5%	220万kW	2004年4月資本参加
オーストラリア・ヴィクトリア州最大の発電所（石炭火力）を運営。					
⑥ ウム・アル・ナル (発電・造水)	UAE	約55億 (2008年出資予定)	14%	既設:85万kW(造水75万ト/日) 新設:155万kW(造水11万ト/日)	既設分:営業運転中 新設分:2006年一部運転開始
UAE・アラブ首長国連邦におけるガス火力発電・海水淡水化事業。					
⑦ パイトンI	インドネシア	約80億円	14%	123万kW	2005年11月権益取得完了
インドネシア・ジャワ島東部にある石炭火力発電所を運営。					
⑧ ミラント・フィリピン	フィリピン	未定	50%	220万kW	2006年12月株式買取契約締結
フィリピン最大のIPP事業持株会社であるミラント・アジア・パシフィック社（MAPL社）の国際入札を丸紅とともに落札し、権益取得完了に向け、現在交渉中。					
⑨ ユーラスエナジー	イギリス・スペイン・イタリア・米国・韓国	約147億円	60%	132万kW	2002年9月資本参加
米国・欧州・アジアで風力発電事業を展開。風力発電事業者としては世界有数規模を誇る。					

\*出資額については、2006年の平均為替レートを適用している。

## 2. 海外コンサルティング事業の現状

当社の技術力、ノウハウを海外で活用することにより、国際貢献、海外の電力会社への技術支援に努めるとともに、一層の収益向上を図っている。

### <最近の海外コンサルティング受注実績>

	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
件数	35 件	40 件	45 件	48 件	37 件
受注額	10.0 億円	13.8 億円	17.1 億円	13.4 億円	12.8 億円

### <最近の主な受注案件>

- ① 中国 100 万 V 送電技術支援
  - ・ 実施期間：平成 17 年 7 月～平成 18 年 6 月
  - ・ 委託元：中国・国家电网公司
  - ・ 実施内容：中国で初めて建設される 100 万 V 送電線、変電所の設計仕様について技術コンサルティングを実施。
- ② 太陽光発電・揚水発電ハイブリッドシステム実証試験（ラオス）
  - ・ 実施期間：平成 15 年 10 月～平成 18 年 3 月
  - ・ 委託元：独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
  - ・ 実施内容：太陽光発電と揚水発電を組み合わせた新しい発電システムをラオスの未電化地域に建設し、10 村・約 5 千人に電力を供給し、システムの実証試験を実施。
- ③ 上海 50 万 V 地中線・地下変電所設計建設技術支援
  - ・ 実施期間：平成 17 年 8 月～平成 19 年 8 月（予定）
  - ・ 委託元：上海市電力公司
  - ・ 実施内容：2010 年に上海で実施される万国博覧会に備え電力の安定供給を図るため、中国で初めてとなる 50 万 V 地下変電所の設計、建設に関する技術支援を実施中。
- ④ フィリピン地方電化技術プロジェクト調査
  - ・ 実施期間：平成 18 年 8 月～平成 20 年 7 月（予定）
  - ・ 委託元：独立行政法人国際協力機構（JICA）
  - ・ 実施内容：フィリピンの農村部を中心とした電化を促進するため、小規模水力など再生可能エネルギーの適用可能性を調査し提言するとともに、これに関する現地人材育成を支援する各種の活動を展開中。
- ⑤ 米国における原子力建設・運転管理に関する技術コンサルティング
  - ・ 実施期間：平成 19 年 3 月～建設運転許認可申請日もしくは平成 20 年 3 月（予定）
  - ・ 委託元：STP ニュークリア・オペレーティング・カンパニー社
  - ・ 実施内容：米国テキサス州で計画中の同国初となる ABWR（改良型沸騰水型軽水炉）の建設とその運転管理に関し、当社が保有する経験・技術・知見を活かしてコンサルティングを行うもの。

以 上